

祭り舞台裏の人たち

町をあげての祭りが今年も盛大に催されました。祭りを盛り上げた舞台裏の人たちを追いました。

祭りを彩る山車を制作

宮大工の小石幸悦さん

町内の仮設住宅に住む宮大工の小石幸悦さん(66)は、次男の幸輝さん(32)とともに、震災後4基の山車を制作しました。震災で失われた中須賀大神楽、城内大神楽、吉里吉里大神楽、雁舞堂七福神の山車です。ヒノキ造りの、すがすがしい山車は、町民の復興へ願いを乗せて、大槌の祭りを盛り上げました。



雁舞堂七福神の山車と小石幸悦さん=9月6日、小鐘

小石さんは中心市街地に住んでいて被災し、母親、姉、おいを失くしました。仕事場も津波に襲われ、道具類はほとんどが流されました。山車の注文に応じられる状況ではありませんでした。しかし、小石さんは、こう考えました。祭りはまちを元気にする。地域再生、

復興への足がかりになる。何としても山車を造って祭りを盛り上げよう。

すべての山車が総ヒノキ造り。彫刻、屋根の銅板葺きまで、親子で手がけました。中央部が弓型で、左右両端が反り返った唐破風作りに、四方千鳥の屋根を組み合わせた山車は、奈良や京都で修業して身に付けた技術が生かされています。山車制作には日本財団などからの助成金が充てられました。

小石さんは「これからも、持っている技術を生かし、まちを元気づけたい」と話しています。

担ぎ手に全国から108人

2基の神輿渡御の応援に

小鐘神社には神輿の担ぎ手による「社人会」という団体があります。固定したメンバーは15人ほど。神輿渡御では、全国からの応援組が加わり、108人で神輿を担ぎました。

小鐘神社には2基の神輿があります。担ぎ手は身長170センチ以上、以下の2組に分かれて担ぎました。身長に差がある人が入り混じると、うまく担ぐことができないためです。神輿は神社から午前9時ごろに繰り出し、午



神輿渡御を控えた担ぎ手たち=9月23日、小鐘神社

後5時過ぎに戻ってきました。交代して担ぐとはいえず、途中で走ったり、神輿をぐるぐる回したりするため、肉体的に楽ではありません。担ぎ手は募集され、衣装は神社で準備されました。

「大槌を離れていても、祭りには戻ってきて神輿を担ぐ人が少なくない」と社人会会長の三浦順さん(40)。昨年、初めて担ぎ手に応募した埼玉県上尾市の大学4年生鈴木健太さん(23)は「3年、担がないと御利益がないというので今年も応募しました」と話し、町役場の応援職員中村彬良さん(24)は「つらかったけれど沿道の声援で頑張れた」と語っています。

集落に根づく郷土芸能

文化庁が調査を始める

鹿子踊、神楽、虎舞……。町内には20を超える郷土芸能の団体があり、そのうち18団体が町郷土芸能保存団体に加盟しています。なぜ、数多くの郷土芸能団体が地域に根付いて活動しているのか。どのようにして後継者を育て

ているのか。文化庁の調査事業が始まりました。

調査は文化庁の文化遺産地域活性化推進事業の一環です。調査員の国学院大教授の茂木栄さん(62)、御嶽山御嶽神明社禰宜の佐藤一伯さん(44)が、祭りの期間中、町に入りました。各団体の関係者の聞き取り調査をし、一連の例大祭の行事を見学しました。

町の郷土芸能は、町内のそれぞれの集落で、親から子、子から孫へと伝承されてきました。江戸時代に創作されたとされる吉里吉里虎舞講中のように町の無形民俗文化財に指定されているものもあれば、城山虎舞のように平成に入ってから活動を始めた団体もあります。同じような郷土芸能が、並存しているのが特徴です。

町郷土芸能保存団体連合会は平成4(1992)年に結成されました。それまでは互いに張り合い、ぶつかり合うこともあったそうです。

祭りを見た茂木さんは「独自色が濃い地域が、競い合い、継承されてきた」と分析しています。佐藤さんは「震災後、祭りは、復興に向けて町民が心を一つにする場になっているように感じました」と話しています。



祭りの調査の打ち合わせをする茂木栄さん(右)と佐藤一伯さん(左)=9月23日、小鐘神社

1カ月早く「吉里吉里祭り」

「吉里吉里祭り」は、8月25日、天照御祖神社を中心にかれました。繰り出した神輿の列に、鹿子踊、大神楽、虎舞が加わり、祭りを盛り上げました。

午前9時前、神輿が出発しました。「オーヨ」「オーヨ」という掛け声が浜風に乗って、周辺にこだましました。鹿子踊が先導役で、大神楽、神輿と続き、神輿を虎舞が後押ししました。神輿の列は吉里吉里海岸に向かい、砂浜で、震災犠牲者の慰霊と鎮魂のために、大祓式を執り行いました。神輿の列はその後、吉里吉里地区内を練り歩きました。ところで、郷土芸能の演舞があり、沿道に集まった人たちの目を楽せました。

午後1時過ぎに、神社前の広場でフィナーレを迎え、神輿、鹿子踊、大神楽、虎舞の四者で混沌とした輪が出来ました。



大槌町郷土芸能保存団体連合会加盟の18団体

(※五十音順)

- 白澤鹿子踊
- 金澤鹿子踊
- 上京鹿子踊
- 吉里吉里鹿子踊
- 徳並鹿子踊
- 安渡大神楽
- 吉里吉里大神楽
- 城内大神楽
- 中須賀大神楽
- 浪板大神楽
- 花輪田神楽
- 松の下大神楽
- 安渡虎舞
- 大槌城山虎舞
- 吉里吉里虎舞講中
- 向川原虎舞
- 陸中弁天虎舞
- 雁舞道七福神